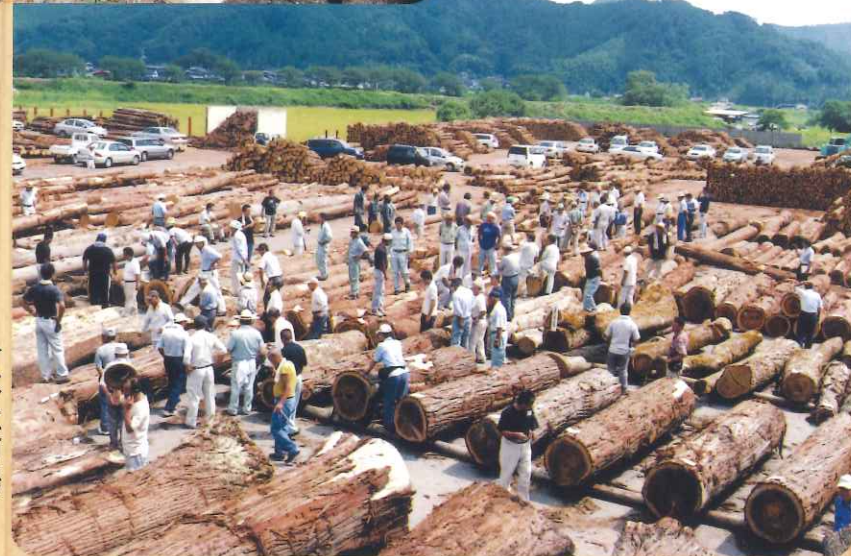




◀ 月田市場



▶ 本社市場

住む人の
心にしみる
木の香り



アクセスマップ



アクセス
ACCESS

- 中国自動車道落合I.Cより車で約10分
- 米子自動車道久世I.Cより車で約10分
- 本社より月田市場へは車で約20分

原本市場

 真庭木材市売株式会社

岡山県真庭市富尾1番地
 本社 TEL (0867) 42-0602(代)
 FAX42-2600
 月田木材市場 TEL (0867) 44-3181(代)
 FAX44-3181

ごあいさつ

当社の位置する真庭市は岡山県北部にあり、中国道、米子道、岡山道を2箇所のジャンクションで結び、5箇所のインターチェンジがある県下最大の面積を持ち、南部は商工業、北部は観光で発展しつつあります。

また林業は先人達の努力によりスギ・ヒノキの人工林面積は3万5千ヘクタール（人工林率57.8%の内スギ22%、ヒノキ72%）におよび優れた材質と適切な手入れにより、真庭産材として美作材の中核をなしております。木材産業も原木市場、製品市場を中心に乾燥、加工、防腐等特色のある30余の製材工場が稼働する一方、岡山県農林水産総合センター森林研究所、勝山木材ふれあい会館、真庭バイオマス集積基地、真庭バイオマス発電所等関連施設も充実し、年間約20万立方メートルの原木消費を行う西日本屈指の木材産地を形成いたしております。

当社は、昭和35年素材、製材業者60名が集結、原木の安定供給を図るために原木市場を創立、以来当地の原木流通の要として、関係皆様のご愛顧を受け発展してまいりました。現在では資本金8千万円、株主260名、スギ・ヒノキを中心に年間取扱量約8万立方メートル、売上高約10億円の状況でございます。創立時から「奉仕、信用、誠実、情熱」を社是として、常にオープンな経営を行い、作業安全性・効率向上のため、土場舗装、リフト、グラップル付きパワーショベル、市場業務パソコン事務化を全国に先駆けて導入し、作業の合理化・コストの削減に努め、業界の皆様が、ご自分の市場としてご利用いただける体制を維持し、サービスの向上に努力いたしております。

皆さまのご利用、ご愛顧を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

真庭木材市売株式会社
代表取締役社長 山下 薫

会社の歩み

- 昭和35年4月 地元若手業者により、株主60名、資本金150万円にて創立。
- 昭和39年9月 月田木材市場を開設。
- 昭和41年7月 高松宮殿下をお迎えしての特別記念市を開催。
- 昭和47年8月 常陸宮殿下、同妃殿下のご来場を仰ぎ特別記念市を開催。
- 昭和55年7月 創立20周年記念事業、2,000株の増資、株主310名、新資本金8,000万円。
- 昭和55年8月 グンゼ工場隣接地から現在地へ本社移転。
- 昭和63年2月 月田木材市場の事務所、休憩所、車庫を新築。

- 昭和63年12月 オフィスコンピュータ制度導入。
- 平成2年4月 創立30周年記念事業。
- 平成3年2月 選木用グラップル付きパワーショベル導入。
- 平成3年6月 月田木材市場第3土場開設。
- 平成12年4月 創立40周年記念事業。
- 平成19年11月 創業者山下忠雄氏死去。
- 平成22年4月 創立50周年記念事業。
- 平成27年1月 チッパー「ウッドハッカー」を導入。
- 平成28年7月 SGEC・CoC認証取得。



本社（昭和55年10月写）

会社の概要

- 資本金 8,000万円（8,000株）
- 創立 昭和35年4月
- 本社 岡山県真庭市富尾1番地
- 営業種目 原木の市売、山林売買及び素材生産、発電用チップ製造
- 市売場所 《本社市場》 岡山県真庭市富尾1
電話 (0867) 42-0602(代)
FAX (0867) 42-2600
Eメール mmik@lime.ocn.ne.jp
面積 17,000㎡
- 《月田市場》 岡山県真庭市月田7486
電話 (0867) 44-3181(代)
FAX (0867) 44-3518
面積 14,000㎡
- 市売 毎月4の日 月田市場、午前9時開市、終了後、本社市場。
- 取引銀行 中国銀行久世支店、トマト銀行久世支店、津山信用金庫久世支店、真庭農協久世支所、真庭農協勝山支所

営業規則抜粋

- 1、出荷手数料 6・5%
- 1、出荷整理料 径級によりm³当り700円～1,050円
- 1、出荷代金 市日後8日現金決済
- 1、買上代金 市日後7日現金決済
- 1、買方保証金 10万円
- 1、引渡手数料 m³当り 900円

社 旗

(昭和35年創立時制作)



- (一) 真庭の里の真中に
強固な意志と団結で
郷土の産業建設に
奉仕の心培いて
ああ三色の旗ひるがえる
- (二) 緑の山脈そのままに
築く信用空高く
流れも古き旭川
輝く歴史うちたてん
ああ三色の旗ひるがえる
- (三) 運びつまった原木の
香りも染みて純白の
木肌にみせる年輪は
円く重なる和の力
ああ三色の旗ひるがえる
- (四) 大きな資源開発に
豊かな技術情勢と
きずなも強く結ばれて
共に栄えん永久に
ああ三色の旗ひるがえる

社 歌

作詞・職員一同
作曲・佃紀美生
(昭和三十七年作)



月田木材市場 第1・第2土場